

「当たり前を疑え！」

業界の常識に挑む 亀田製菓の

# ECOパッケージ

みんなのもとに届けるよ!



クワン王子  
©KAMEDA

「亀田の柿の種」や「ハッピーターン」などで知られる米菓業界のリーディングカンパニー、亀田製菓株式会社(本社・新潟県新潟市)。

現在、米菓メーカーの常識を覆す取り組みが注目を集めています。包装に使用するプラスチックの量を減らすため、商品の詰め方やパッケージの改良を行い、ノントレー化とスリム化を実現。亀田製菓が業界の常識に挑戦したきっかけとは?

『海老のりあられ』  
内容量はそのまま!  
スリムなパッケージに!



しかも

えびのり  
海老と海苔の  
練り込み量を  
増やして  
おいしさアップ!



開発のきっかけは、某取引先代表からの一言。「米菓業界・米菓売り場は、昔から全く変わっていない。リーディングカンパニーの亀田製菓がエコ化を始めなければ、誰がやる」この叱咤激励でした。

おせんべいやあられなど米菓の包装は、中身が割れるのを防ぐために、プラスチック素材のトレーが使用されています。また、スーパーマーケットなどの店頭で目を引きやすくしたいの思いから、業界では包装が大型化する傾向があり、スリム化は難しいとされてきました。そんな中、亀田製菓は2018年、トレーを抜いた「ECOパッケージ」化に成功しました。

開発のきっかけは、某取引先代表からの一言。「米菓業界・米菓売り場は、昔から全く変わっていない。リーディングカンパニーの亀田製菓がエコ化を始めなければ、誰がやる」この叱咤激励でした。

約1年の開発・テスト販売期間を経て「ECOパッケージ」は2019年3月、うす焼チップス「通のえだ豆」、「通の焼き海老」の2商品でスタート。C/Gグループ店舗での販売をはじめとして、現在、「海老のりあられ」など11商品に広がりました。さらに2030年までに米菓の全商品を「ECOパッケージ」化することを目指しています。

亀田がやらなければ、誰がやる!

読売新聞読者  
モニターの  
約8割が

「ECO商品のお菓子を購入したい」と回答

「ECOパッケージ」の取り組みは最近の消費者の要望ともマッチしています。読売新聞の読者を対象に2020年2月に実施した調査\*によると、環境への意識の高まりとともに、商品の「ECOパッケージ」化に対する期待の大きさがうかがえる結果となりました。

まず、「エコ(ECO)」「環境配慮」といった社会的な動きについて、「関心がある」「やや関心がある」と回答した人は、77.6%に達しました。中でも40代-60代の女性読者モニターでは81.4%とさらに高い結果に(左グラフ)。

お菓子について、「中身の容量や価格はそのまま、パッケージサイズが小さくなることでプラスチックを削減できるエコ商品のお菓子について、購入してみたいと思いませんか。」

「ECOパッケージ」化に対する期待の大きさがうかがえる結果となりました。

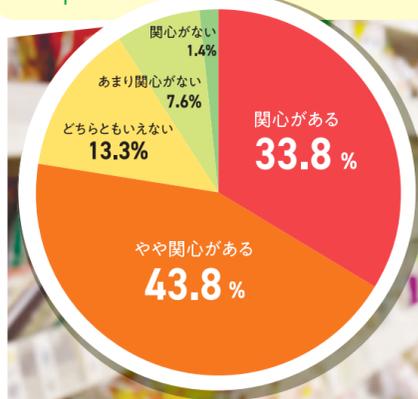
まず、「エコ(ECO)」「環境配慮」といった社会的な動きについて、「関心がある」「やや関心がある」と回答した人は、77.6%に達しました。中でも40代-60代の女性読者モニターでは81.4%とさらに高い結果に(左グラフ)。

お菓子について、「中身の容量や価格はそのまま、パッケージサイズが小さくなることでプラスチックを削減できるエコ商品のお菓子について、購入してみたいと思いませんか。」

「ECOパッケージ」化に対する期待の大きさがうかがえる結果となりました。

まず、「エコ(ECO)」「環境配慮」といった社会的な動きについて、「関心がある」「やや関心がある」と回答した人は、77.6%に達しました。中でも40代-60代の女性読者モニターでは81.4%とさらに高い結果に(左グラフ)。

質 問 「エコ(ECO)」「環境配慮」といった社会的な動きについて、どれくらい関心がありますか。(n=210)

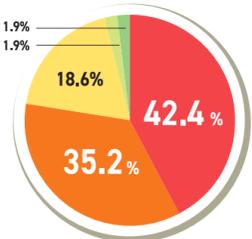


ECOに  
変わっターン!

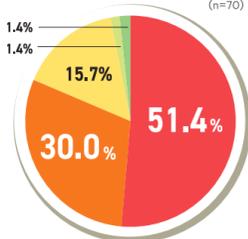


質 問 中身の容量や価格はそのまま、パッケージサイズが小さくなることでプラスチックを削減できるエコ商品のお菓子について、購入してみたいと思いませんか。

男女全年代スコア (n=210)



40代-60代女性スコア (n=70)



ご回答  
ありがとうございます!



質 問 エコ活動において、今は実践していないが、今後やってみたいこと。(n=210、複数回答可)

- 1位 プラスチック削減商品の購入
- 2位 省エネ家電の使用
- 3位 マイ水筒、マイボトルの使用

「ECOパッケージ」シリーズ  
好評発売中



「ECOパッケージ」化によって材料コストを削減した分をさらにおいしい商品づくりのため、素材を見直すなど品質向上を目指します。

従来商品よりパッケージサイズが小さくなるため、必要な情報をどのように伝えるかデザインも工夫しています。商品のスリム化で、売り場のメンテナンスをし



商品開発部  
新ブランド開発チームマネージャー  
おせき たいちろう  
尾関 太一 さん

新しい包装スタイルに挑戦



マーケティング部  
戦略立案チームマネージャー  
さわだ まさる  
澤田 大 さん

お客様の環境への意識が変わってきているのを感じ、危機感を持っていました。そんなとき、C/Gグループなど流通各社からの後押しもあり、米菓業界の古い慣習である「大型包装」の見直しを決意しました。これが「亀田製菓ECOパッケージ」化プロジェクトのはじまりです。

当社は米どころ新潟発祥という点もあり、原材料を生み出す田んぼから、お客様の手に届くまで、「入口から出口まで」をトータルで考えていきたい。この「ECOパッケージ」

2020年度は、「ECOパッケージ」化を進めて、パッケージのプラスチック使用量を150トン削減する目標を掲げています。うす焼チップス「通のえだ豆」に換算すると従来の包装と比べて、1200万袋相当を削減することになります。

「ECOパッケージ」化によって材料コストを削減した分をさらにおいしい商品づくりのため、素材を見直すなど品質向上を目指します。

従来商品よりパッケージサイズが小さくなるため、必要な情報をどのように伝えるかデザインも工夫しています。商品のスリム化で、売り場のメンテナンスをし

お客様の環境への意識が変わってきているのを感じ、危機感を持っていました。そんなとき、C/Gグループなど流通各社からの後押しもあり、米菓業界の古い慣習である「大型包装」の見直しを決意しました。これが「亀田製菓ECOパッケージ」化プロジェクトのはじまりです。

当社は米どころ新潟発祥という点もあり、原材料を生み出す田んぼから、お客様の手に届くまで、「入口から出口まで」をトータルで考えていきたい。この「ECOパッケージ」

2020年度は、「ECOパッケージ」化を進めて、パッケージのプラスチック使用量を150トン削減する目標を掲げています。うす焼チップス「通のえだ豆」に換算すると従来の包装と比べて、1200万袋相当を削減することになります。

「ECOパッケージ」化によって材料コストを削減した分をさらにおいしい商品づくりのため、素材を見直すなど品質向上を目指します。

従来商品よりパッケージサイズが小さくなるため、必要な情報をどのように伝えるかデザインも工夫しています。商品のスリム化で、売り場のメンテナンスをし

常識にとらわれず進化

